

令和5年度 第3回 自立支援協議会 就労支援部会

開催日時：令和5年10月24日（火）16：00～17：30

参加事業所：11事業所

ステップ、サスケ設計工房今治、カイト今治、あみ、健心工房、クリエイト21、
マルクワークス喜田村、まんまるファクトリー、サスケ設計工房今治東、
今治市障がい福祉課、基幹相談支援センター

議題① 企業見学の振り返り（アンケート）

8/28に企業見学で新来島ふれんどシップを見学した。見学後のアンケートで6割の方が大変ためになったと回答された。

主な感想：・障害者雇用を熱心にされている様子が分かった。

- ・定期的に面接をされたり、お昼休みに話をするなど、具体的に組み込まれていることが分かった。
- ・障害者雇用を満たしていない企業が取り組むきっかけになると思う。
- ・業務の切り出しやマッチングの課題があると感じた。

今年度の見学の目的：他企業又は他事業所へを見学を通して、企業の取組、支援の方法などを
知り、各事業所が利用者の将来性やステップアップを見据えた
支援のイメージを持てるようになる。

議題② 12月の事業所見学について（グループワーク）

2グループに分かれ、企業見学の振り返りと12月の事業所見学について協議

○企業見学の振り返り

見学に行った目的：企業の取り組み支援の方法を知る。

主な意見

- ・作業箇所・場所をてファイルに綴じていて目で見てわかるようにして良かった
- ・昼食を一緒に取られていて、障がい者の方の気持ちを汲み取るのに力を注いでいた
- ・マニュアルが写真付き 細かな指示が表示されていた
- ・企業が何を求めている、就労Aや就労移行がどうやり取りし、マッチングしているのか、業務の切り出しをする際の方法を知りたい。

○事業所見学について

- ・業務マニュアル、生活マニュアル、マニュアルの有効性が知りたい
- ・一般企業に行ける⇒数人しかいない。どんな支援をすると就労できるのか
- ・精神障害の方への生活指導・業務指導

- ・利用者のレベルに応じた支援方法。
- ・質を高めるため、どう職員をスキルアップ、情報共有し、どのように利用者に反映しているのか。職員、利用者に対しての育成方法。

結果：マルクワークス喜田村、デコの意見があった。